



Case学習メモ

強い行動を前にしたとき、自分の見方の変化を残す

このメモについて

このメモは、Caseを読んで、

本人について正しい答えを出すためのものではありません。

読む前の自分が、何を先に見ていたか、何を急いで考えていたか、何を守ろうとしていたか、どんな言葉で場面を見ていたかを残し、

読んだあと、自分の見方がどう変わったか

を振り返るためのメモです。強く見える行動ほど、支援する側も判断を急ぎやすくなります。

だからこそ、このメモでは、

強い行動を見るだけでなく、強い行動を見ている自分も見

ことを大切にします。

全部を書く必要はありません。書けないところを、推測で埋める必要もありません。「まだ分からない」が残っても構いません。

安全

安全に関わる場面では

緊急性のある安全上・身体上・医療上の問題があるときは、

このメモでの振り返りより先に、必要な安全確保・所属先の手順・専門職への連絡や相談を優先します。

このメモは、緊急対応手順や医療判断の代わりではありません。

理解することは、許容することではありません。

安全を守ることは、本人を罰することと同じではありません。

安全が確保されたあとで、「私は、その場面をどう見ていたのだろう。」へ戻ります。

STEP 0

このCaseから、今の自分が考えたいこと

このCaseを読む前に、今考えてみたいこと

- ☐ 強い拒否や混乱がある場面
- ☐ 同じやり方を求める場面
- ☐ 音や刺激から離れる場面
- ☐ 安全を優先する必要がある場面
- ☐ 「止めたい」「落ち着いてほしい」と感じる場面
- ☐ 原因が分からず迷っている場面
- ☐ 本人の拒否・選択・確認の方法を考えたい
- ☐ 自分の関わり方を振り返りたい
- ☐ その他

今、一番考えたいこと

STEP 1

読む前の自分を見る

1

この場면을最初に見たとき、私は何を一番優先しようと思いましたか？

- | | |
|-------------------------------------|--|
| ☐ 本人の安全 | ☐ 周囲の人の安全 |
| ☐ 行動を止めること | ☐ 落ち着いてもらうこと |
| ☐ 活動を続けること | ☐ 予定どおり進めること |
| ☐ 周囲を安心させること | ☐ 本人の気持ちや伝え方を確かめること |
| ☐ その他 | ☐ まだ分からない |

そのときの自分について

2

最初に、どんな言葉が浮かびましたか？

例：拒否／こだわり／感覚／混乱／危険／分からない／問題
／いつものこと

3

その言葉から、本人について何を早く決めようとしていましたか？

最初の見方を責めるのではなく、自分がどこから場面を見始めていたかを残します。

3つの見方から、自分の見方に何が加わった?

この3つは、本人の原因を一つに決めるための分類ではありません。

自分が見ていなかった条件へ、見る方向を増やすために使います。

5A | ABA

ABAから、自分の見方に加わったこと

行動の前後、条件、本人がすでに使っている方法などから、「何が起きていたか」をもう一度見たとき、自分に加わったこと。

5B | ICF

ICFから、自分の見方に加わったこと

本人だけでなく、活動・参加・環境・健康・身体面・周囲との関係まで広げて見たとき、自分に加わったこと。

3つの見方から、自分の見方に何が加わった？

5C | Structured TEACCHing

Structured TEACCHingから、自分の見方に加わったこと

何が起きるか、いつまでか、何を選ぶか、何を確認できるか、どんな情報が本人に見えていたかを考えたとき、自分に加わったこと。

どれか一つを「正解」にする必要はありません。

STEP 3

強い行動を見ていた自分を見る

6

その場面で、自分の判断を急がせていたものはありましたか？

- ☐ 安全への心配
- ☐ 周囲の人への影響
- ☐ 時間
- ☐ 次の予定
- ☐ 同じことが続いていた疲れ
- ☐ 本人に早く落ち着いてほしいという気持ち
- ☐ その場を早く収めたいという気持ち
- ☐ 周囲の視線
- ☐ どうしてよいか分からない不安
- ☐ その他
- ☐ 特に思い当たらない

自分について気づいたこと

STEP 3

強い行動を見ていた自分を見る

7

私は、「行動の強さ」と「原因が分かったこと」を同じにしていなかったでしょうか？

8

今は、何が「まだ分からない」と思いますか？

分からないことを残すのは、考えていないからではありません。
急いで決めないために、分からないまま置いておくことも大切です。

STEP 4

自分の支援へ持ち帰る

9

次に似た場面があったとき、私は何を先に見たいですか？

- | | |
|--|---------------------------------------|
| ☐ まず安全 | ☐ 強くなる前の本人の表出 |
| ☐ 本人がすでに使っている方法 | ☐ 直前の条件 |
| ☐ 人との関わり | ☐ 活動・時間・順序 |
| ☐ 情報・見通し | ☐ 音・刺激・距離 |
| ☐ 本人が選べる部分 | ☐ 自分の言葉・待ち方・距離 |
| ☐ 健康・身体面 | ☐ まだ分からないこと |
| ☐ その他 | |

今、先に見たいこと

10

自分の関わりで、一つだけ見直してみたいこと

本人を変えるだけでなく、自分や環境側で変えられる条件も見ます。

STEP 5

読む前と今を比べる

11

読む前、私はこの場面をどう見ていましたか？

12

今は、この場面をどう見えていますか？

13

今、自分に残っている問い

このメモで残したいこと

Caseを読んでも、本人についての答えが一つに決まらないことがあります。それで構いません。

このメモで残したいのは、

強い行動を見たとき、自分は何を急いでいたのか。

何を守ろうとしていたのか。

何が見えにくくなっていたのか。

次に、どんな問いを持って本人と向き合いたいのか。